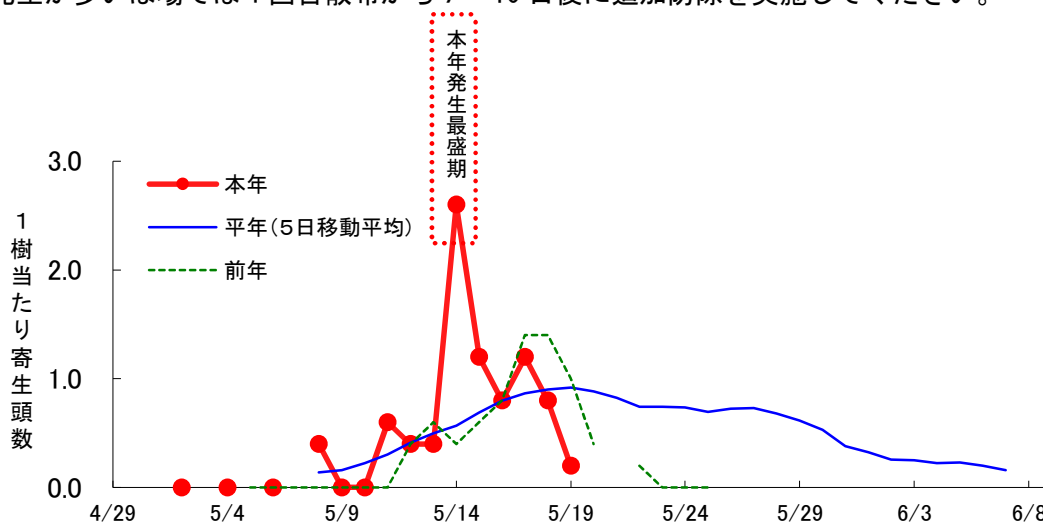


カキノヘタムシガに注意

発生時期 (発蛾最盛期)	早い (平年比7日早)
発蛾最盛期樹あたり発生量 本年：2.6頭（平年：2.0頭） 発蛾最盛期 本年：5月14日（平年：5月21日）	

岐阜市木田の調査地点では、見取り調査の結果、越冬世代成虫は平年（5月12日）よりやや早い5月8日から観察され、発蛾最盛期は5月14日（平年5月21日）と平年より早くなっています。なお、発生量は1樹あたり2.6頭（平年2.0頭）と平年よりやや多くなっています（図）。

発蛾最盛期10日後頃より果実への食入が始まるため、防除適期は5月下旬と予測されます。なお、例年発生が多いほ場では1回目散布から7～10日後に追加防除を実施してください。



見取り調査によるカキミガ(カキノヘタムシガ)越冬世代成虫1樹あたり寄生数の推移
(岐阜市木田)

- ・農薬の使用にあたっては、最新の登録内容を確認し、適正に使用してください。
農薬登録情報提供システム
<https://pesticide.maff.go.jp/>
- ・当所のホームページに発生予察情報、病虫害調査データなどを掲載していますのでご活用ください。
岐阜県病虫害防除所
<http://www.pref.gifu.lg.jp/soshiki/24321/>